# 令和８年度 第１回 愛媛県保健医療対策協議会医師確保部会　議事概要

１．日　時：令和８年11月２日（月）18：30～19：30
２．場　所：愛媛県庁第二別館10階　1004会議室
３．出席者：委員13名（WEB参加者含む）
４．議　事：
（１）第２期医師確保計画の評価（報告）
〇事務局から資料に沿って説明。
〇意見等
（委員）
・病院と診療所の医師数の比率はここ数年でどうか。
（事務局）
・詳細な数字は手元にないが、医師が増加しているのは病院であり、診療所の医師は減少している。
（委員）
・医師の平均年齢はどうか。医師数が増加したとしても、それが高齢の医師なのか若い医師なのかによって変わってくるため、医師の平均年齢が重要である。
（事務局）
・大学病院を除く病院で47.4歳、診療所で60.1歳。ただし、これは全国値であるため、本県の値については追ってご報告させていただく。

（２）第３期医師確保計画の概要
〇事務局から資料に沿って説明。
〇意見等
（委員）
・代替医師の確保支援事業の窓口はどこか。
（事務局）
・県医療対策課である。
（委員）
・医師をどこに重点的に配置するのか。地域中核病院か、診療所か。
（事務局）
・配置については、愛媛大学等とも協議しながら、地域医療提供体制の維持のため、より良い配置を検討していきたい。
（委員）
・今後、医学部定員が削減される見込みのため、恒久定員も含めて地域枠を維持することをもう少し踏み込んで書いても良いかと考える。
（事務局）
・確認・検討すべき点があるため、今回の計画に盛り込むことは難しいが、引き続き協議させていただきたい。

（委員）

・地域枠について補足だが、現在の愛媛大学医学部医学科の地域枠について、恒久定員が５名、臨時定員が15名。令和９年度についてはこの臨時定員15名の継続は決まったものの、令和10年度以降は臨時定員が縮小される見込みが高いと文部科学省からも示されているところであり、恒久定員内の地域枠を増やしていく必要がある。ただ、臨時定員が減らされてから、恒久定員を増やす対応は難しいため、事前に対応していかないと厳しい状況である。奨学金に係る予算の準備もあるため、県の方でもできるだけ前もって対応いただけるとありがたい。

（委員）

・ドクターバンクについては、高齢の医師が登録されていると想定される。そのような医師が医師不足地域に通勤することは現実的には難しいと考える。そこで、オンライン診療についても県が並行して主導していくとよいのではないかと考えるが、県として何か検討しているか。

（事務局）

・県としても愛媛県医療ＤＸ推進協議会を立ち上げ、医療機関や事業者等が集まり、事例研究や費用等について情報共有を行っているところであり、事業者の協力を得てオンライン診療に意欲のある医療機関向けにオンライン診療の事例紹介や実機の体験会の開催にも取り組んでおり、引き続きオンライン診療の推進に努めていく。

（委員）

・過疎地においては医師だけでなく、看護師が不足しているため医療機関の経営が厳しい状況である。医師にはインセンティブがつくが、看護師に対しても必要ではないかと考えるがいかがか。

（事務局）

・看護師確保も非常に重要な課題と認識しており、潜在看護師の復職支援や県外から就職する看護師１名につき20万円を支給する取組を行うなど、様々な手段により看護師確保についても全力を尽くしているところ。また何か良い方法等あればご意見、ご指導いただきたい。

〇当議事について、事務局案のとおり承認された。